



戦略的政策課題ワーキングのテーマについて



平成30年度 戦略的政策課題ワーキングについて

1. 開催日時

平成30年7月31日(火) 10:00～12:00

* 第2回については、第1回の議論の状況を踏まえ、調整。

2. テーマ及び関連するプレゼンテーションを依頼している府省庁

6月に各委員から1～2テーマずつ挙げていただいた案を踏まえ、座長と協議し、以下のとおり設定。

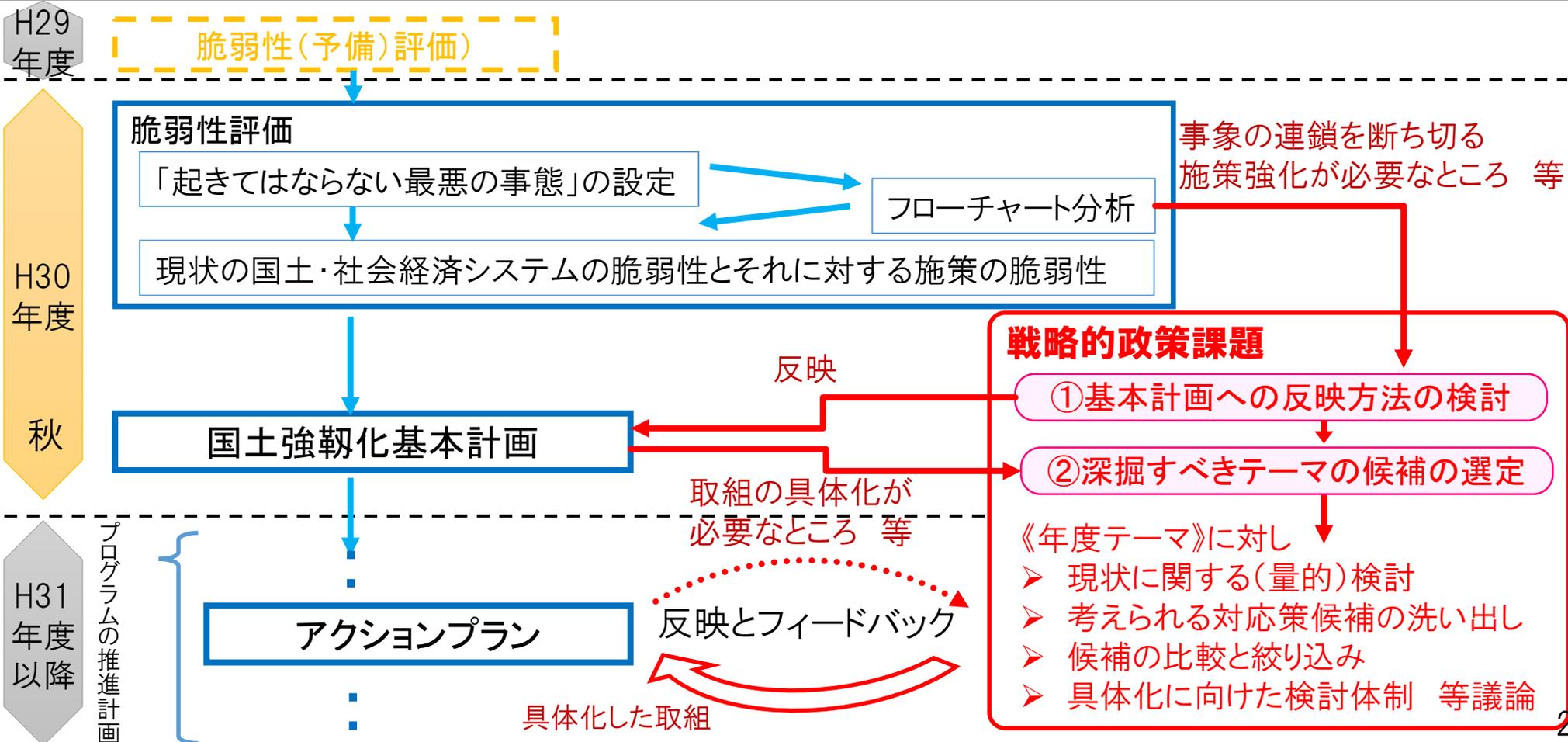
テーマ	プレゼンテーションを依頼している関係府省庁
(1) 東京一極集中リスクとその対応	<ul style="list-style-type: none"> ○内閣官房(まち・ひと・しごと創生本部事務局) ○内閣府(防災担当) ○国土交通省 ○経済産業省
(2) 地域復興力の涵養 ～地域が復興する姿を被災前から描き、 そこに向かって変化していくには～	<ul style="list-style-type: none"> ○内閣府(防災担当) ○国土交通省 ○農林水産省 ○環境省
(3) 被害規模の想定を踏まえた 定量的な対応方策の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○内閣府(防災担当) ○厚生労働省 ○国土交通省

3. 基本計画・アクションプランへの反映方法

- ・基本計画に記載する上でのポイントを整理する
- ・今後の戦略的政策課題の議論において、更なる検討を進める事項を抽出する

戦略的政策課題の位置づけと展開イメージ

- 脆弱性評価においては、国土強靱化を図る上で、客観的に必要と考えられる事項はできる限り明らかにする。
↓ ①脆弱性評価結果を可能な限り基本計画へ反映させるため、戦略的政策課題として検討
- 基本計画は、脆弱性に対し「国家百年の大計」として実施すべき施策の指針をできる限り示していく。
↓ ②重要だが、深掘すべきテーマ(具体の施策、具体の取組が不明瞭なもの等)について、毎年度、戦略的政策課題として検討し、具体化できた取組は、アクションプランへ反映
- アクションプランでは、基本計画に対する毎年度の具体の取組を明確にし、着実に実施していく。



戦略的政策課題の基本計画への反映について(案)

1. 目的

関係各府省庁協力の下、基本計画の策定の検討を開始するにあたり、脆弱性評価結果を可能な限り基本計画へ反映させるため、第43回懇談会(7月)にて、戦略的政策課題のワーキングを行う。

2. 検討の体制

討議では、脆弱性評価の結果の案や、関係団体等からの意見等を踏まえ、論点に關係する府省庁も加わって議論を進める。

3. テーマの選定方法(案)

テーマの候補は、脆弱性評価結果素案(6月に各懇談会委員にお示し予定)を踏まえ、各委員から1~2テーマずつ挙げていただき、座長と協議して絞り込みを行う。

《戦略課題選定の目安》

- ・複数のフローに頻出する事象で、多くの「起きてはならない最悪の事態」に広く影響する事象
- ・各プログラム間の連鎖において、多くの他のプログラムに広く影響を与えるプログラム
- ・初期事象から最悪の事態に至るフローの中で、施策が少ないフロー

※発生 of 蓋然性が高いと思われるフロー、省庁間の総合調整が求められる事項に配慮

4. 基本計画・アクションプランへの反映方法

- ・基本計画に記載する上でのポイントを整理する
- ・今後の戦略的政策課題の議論において、更なる検討を進める事項を抽出する